

MY COLOR

Vol.8

きらっと*とよかわっ! 輝くひと

さまざまな分野で活躍する豊川市出身のトップランナーを紹介します

情報の最前線で

自分を高めていきたい

〈アナウンサー〉鈴木 しおりさん



鈴木 しおり (すずきしおり)
御津南部小学校、御津中学校、時習館高校を卒業。上智大学を卒業後、2007年にメ〜テレに入社。現在、夕方のニュース情報番組「UP!」で、女性キャスターとして活躍。



メ〜テレ「UP!」(月〜金 18:15 から放送) <http://www.nagoyatv.com/up/>

アナウンサーを意識し始めたのは、中学2年のとき。「元フジテレビアナウンサー・小島奈津子さんの人を明るくできる笑顔に憧れていた」と当時の思いを振り返る。しかし、アナウンサーになりたいという気持ちを周囲に口にするには、夢見がちで気恥ずかしかった。大学では教育学を専攻し、教員を目指そうとしていた。

就職活動を始めようとした大学3年のとき、胸中にあったアナウンサーへの思いを捨て切れなかった。以前、本で読んだ「アナウンサーになれたのは宝くじに当たったようなもの」という小島アナウンサーの言葉も後押しとなり、「無理かもしれないが、挑戦したい。後悔したくない」と思

い立った。アナウンサーを目指すには、かなり遅い時期ではあったが、アナウンサースクールに通い、試験に全力で挑み、見事、地元メ〜テレに合格した。

入社した当初、アナウンサーの基礎である発音や発声ができないという壁にぶつかった。「練習についていけず、指導者から別室で練習するように言われた。スタジオにも入れず、とても悔しかった」と話す。克服しようと、プロの声を出すことを意識し教本がボロボロになるまで、とにかく反復練習をした。どうしたら聞き取りやすい声を出せるのかを考えながら、先輩アナウンサーのニュースを何回も見て勉強し、同じようにやってみたいもした。「ようやく声のコントロールが

できるようになったと感じるまでには、5年掛かった。情報番組でキャスターをする傍ら、豊川市御津吹奏楽団定期演奏会で司会を務めるなどしてきた。地元出身のアナウンサーとして、身近な存在に感じてもらえることが強みとなっている。地元のニュースを読むときは、「情景が目に見え、より力が入る」と格別な思いがあるという。

入社して9年目を迎えた今、「情報の最前線について、伝える立場としての責任とプレッシャーを常に感じている。注目を集めていることやさまざまな問題のあるべき姿を考え、貪欲に、自分を高めていきたい」とアナウンサーとしての使命と今後に向けた志を力強く語る。